

石狩市地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

石狩市は札幌市の北側に位置し、面積は721.86km²、人口は約58,000人である。石狩市浜益区内を運行する公共交通の利用者は減少の一途を辿り、札幌浜益線の浜益区の間が不採算路線となったことから平成28年3月31日に廃止となった。

また、石狩市全体の高齢化率は31.7%（平成30年10月現在）であるのに対し、浜益区の高齢化率は55.7%（平成30年10月現在）と浜益区の高齢化が著しいことから、高齢社会における地域住民の生活交通の確保が重要である。

このようなことから、事業採算性を意識しながら高齢者等交通弱者の「生活の足」を確保するための、利便性が高く、将来にわたって持続可能な公共交通体系を構築する必要がある。

そのため、石狩市浜益区における高齢社会や住民ニーズに即し、かつバス交通に関する財政負担の軽減のため、浜益区内全域を網羅するとともに、幹線バス（中央バス、沿岸バス）との接続を目的とした、持続可能なバス交通体系を導入し、区民の生活利便性の向上を図ることを目的とする。

生活交通確保維持改善計画の目標

浜益区予約運行型年間利用者数 1,688人

平成30年度事業概要

南北方面	東方面	厚田方面
予約制デマンド方式 雄冬や柏木などの各戸から幹線交通に接続または浜益温泉、や診療所などまで運行（月・火・木・金曜日）	予約制デマンド方式 浜益・柏木・川下・実田・御料地各戸から幹線交通に接続または浜益温泉、診療所などまで運行（水曜日）	予約制デマンド方式 浜益区内各戸から北海道中央バス札幌厚田線に接続（月～金曜日）

地域公共交通の現況

- ・北海道中央バス(株)(市内21路線)
- ・沿岸バス(株)(市内1路線)
- ・浜益滝川間乗合自動車(1路線)(自家用有償)
- ・スクールバス(17路線)(混乗含む)
- ・タクシー会社3社

協議会開催状況

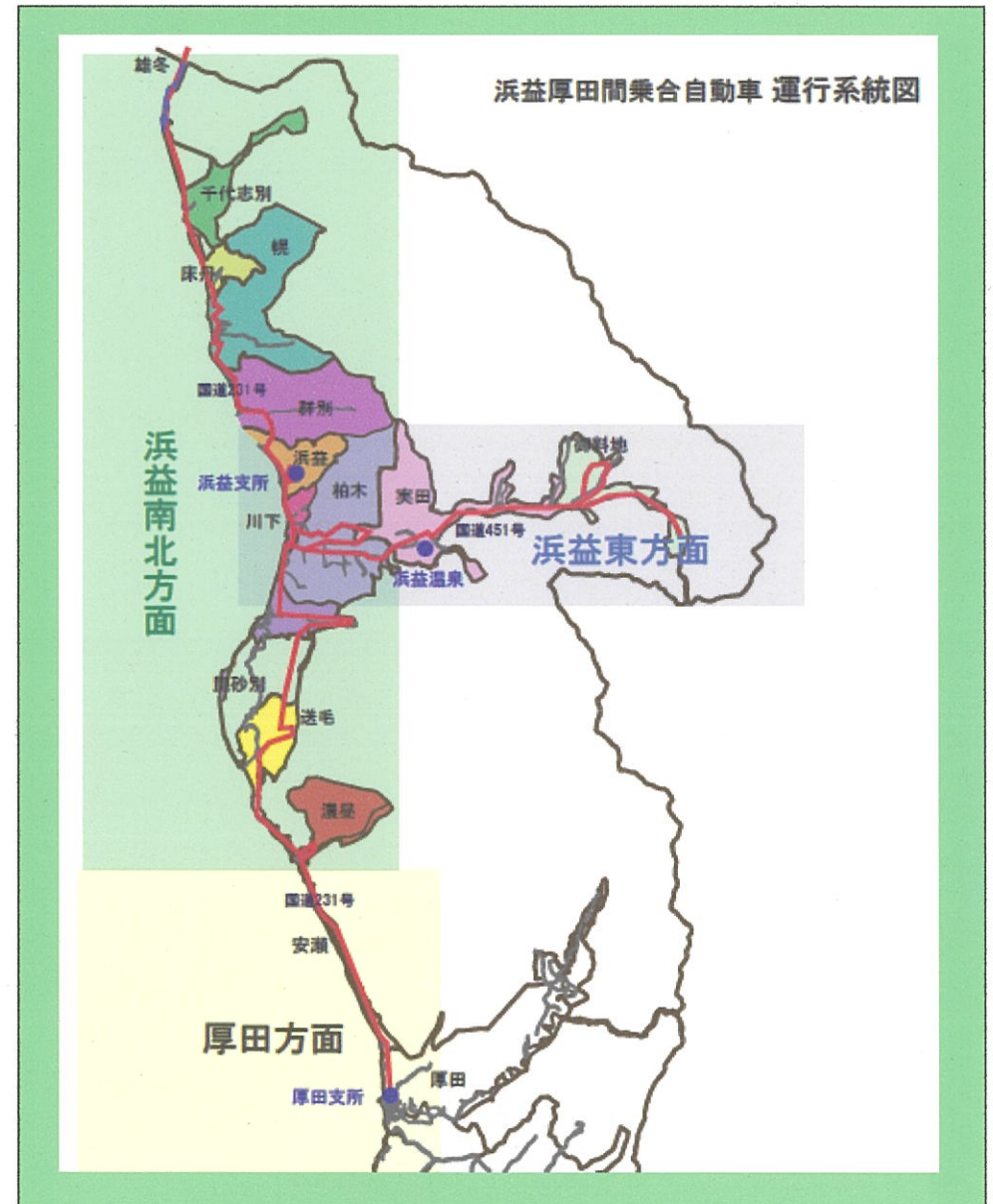
- 〈平成30年1月16日〉平成29年度第3回石狩市地域公共交通会議(書面協議)
 - ・地域生活交通確保維持改善計画の提出について
- 〈平成30年3月7日〉平成29年度第4回石狩市地域公共交通会議(書面協議)
 - ・地域内フィーダー系統確保維持計画変更について
- 〈平成30年6月6日〉平成30年度第1回石狩市地域公共交通会議
 - ・石狩市生活交通確保維持改善計画の提出について
 - ・生活交通改善事業計画の策定について

平成30年度事業の実施状況

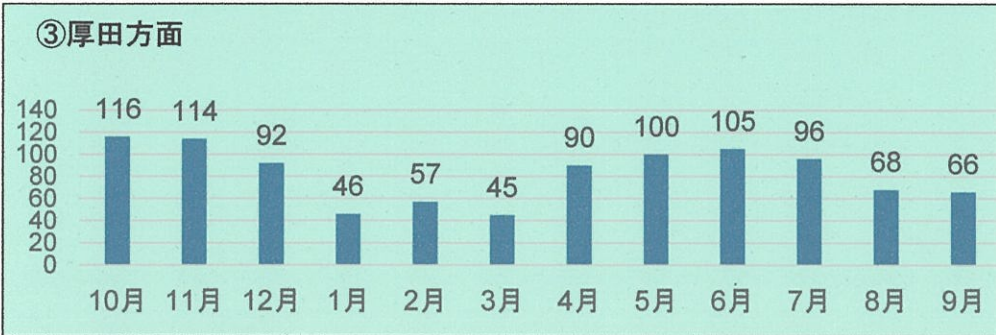
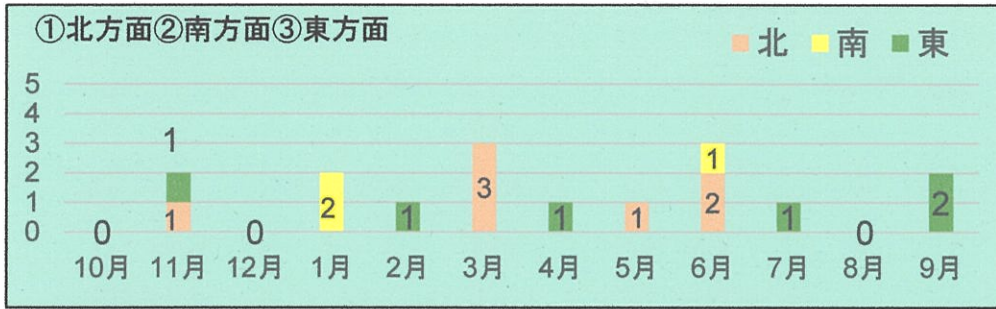
1) プロセス、創意工夫

- ・浜益区民を対象に回覧で利用促進をPRした。
- ・チラシを全戸配布(浜益区内)家庭で保管できるようにした
- ・区内全戸にアンケート配布、現状を把握し運営に役立てた。
- ・市内の公共施設、北海道中央バス札幌バスターミナル、石狩営業所等に浜益厚田間乗合自動車の運行チラシ、厚田発着便の時刻表を掲示して周知を図った。

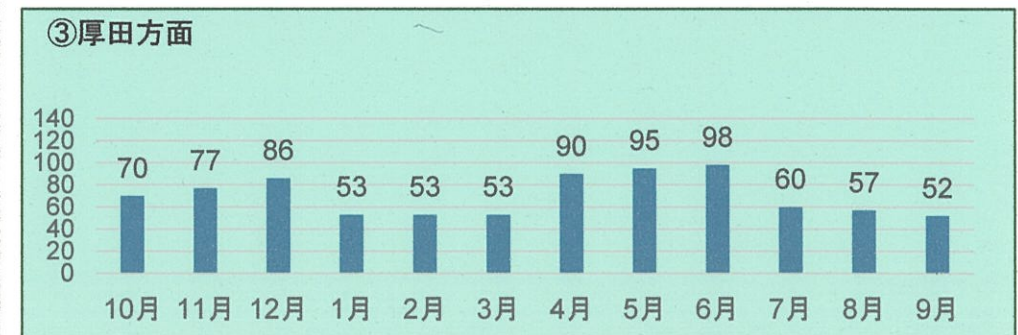
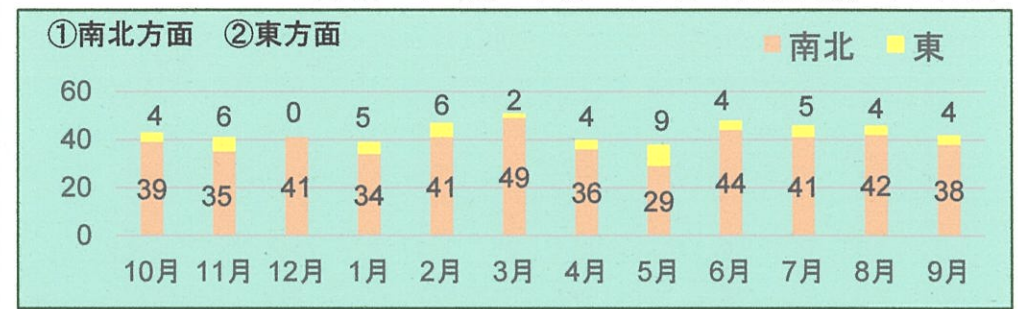
2) 運行系統



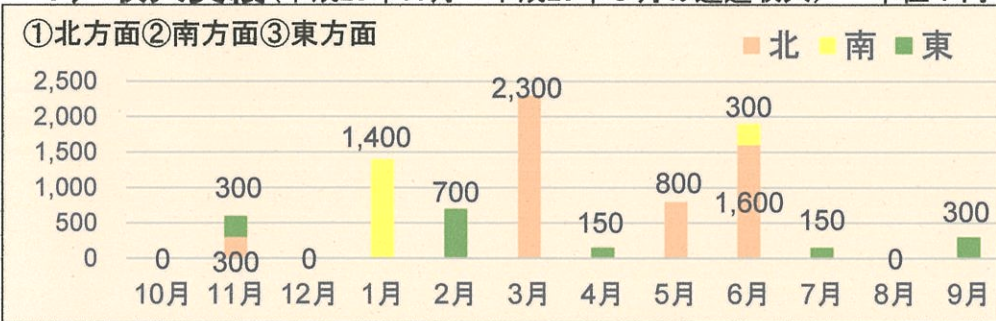
3) 利用実績 (平成28年10月～平成29年9月の利用人数) 単位:人



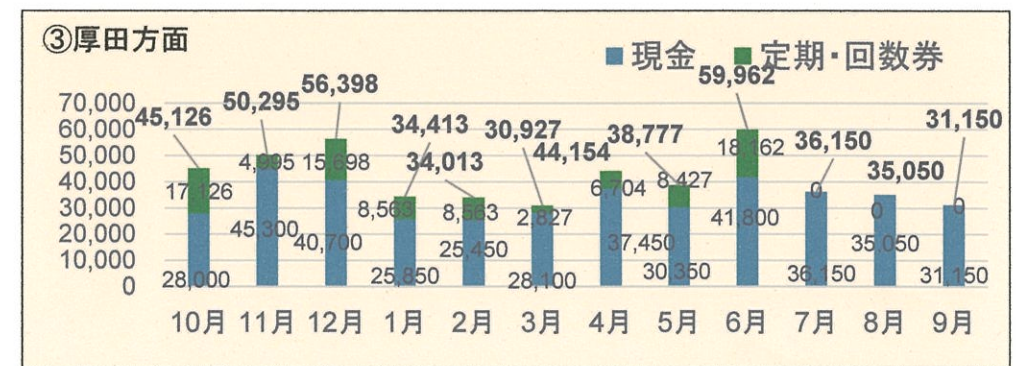
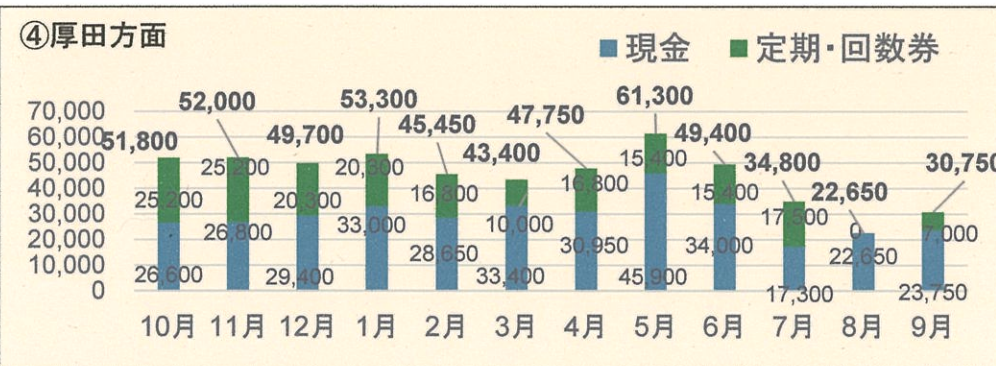
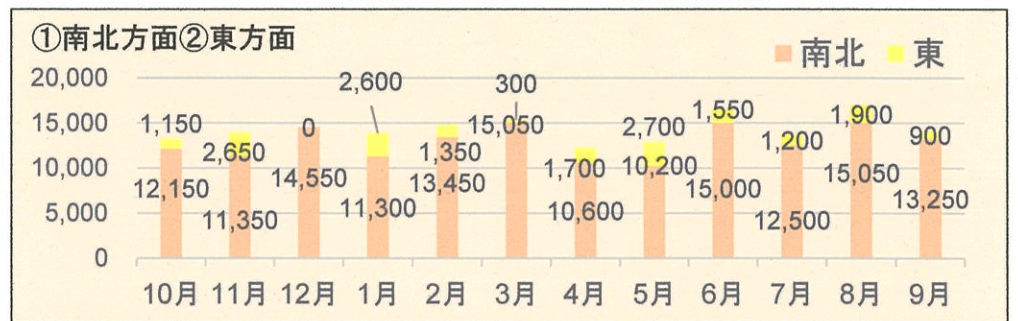
(平成29年10月～平成30年9月の利用人数) 単位:人



4) 収入実績 (平成28年10月～平成29年9月の運送収入) 単位:円



(平成29年10月～30年9月の運送収入) 単位:円



5) 事業実施の適切性

事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。
特に南方面、東方面、北方面では補助対象外となってしまう運行が多かった。

7) 事業の今後の改善点

平成30年7月に浜益区民に対し、アンケート調査を行い、住民のニーズを把握したうえで、利便性等向上に向けて改善を図っていく。

6) 目標・効果達成状況

【事業の目標】

年間利用者数(10月～9月)

目標1,688人

実績1,362人

目標よりも実績は少なかった。前年度同様、補助対象外の利用も多く、目標に達しなかった要因となった。

8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄